

# スーパーマーケット販売統計調査資料

2017年4月実績 速報版(パネル270)

3月実績 確報版(パネル270)

(2017年5月23日公表)

## 調査資料概要

### 【パネル270社集計】

食品を中心に扱うスーパーマーケットを対象に同一企業を集計

※2016年4月実績よりパネル対象企業変更(275社→270社)

### 【集計項目】

商品分類別・エリア別・保有店舗別集計

集計企業数、総店舗数、総売場面積、店舗平均月商、売場1m<sup>2</sup>あたり売上高

### 【速報版・確報版】

速報版:毎月21日前後に前月販売実績を速報値として公表

確報版:速報値に精度の高い集計を行い確報値として公表

### 【全店・既存店】

全店:前年同月全営業店舗と当月全営業店舗の比較

既存店:前年同月、当月共に営業の店舗による比較

### 【商品分類】

総売上高	食品合計	生鮮3部門	青果	野菜類、果実類、花
			水産	魚介類、塩干物
			畜産	食肉類、肉加工品
		惣菜	惣菜、折詰料理、揚物、弁当、おにぎり、寿司、インスタアベーカーリー、ファーストフード	
	日配	豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム		
	一般食品	調味料、瓶缶詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類		
	非食品	日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具		
	その他	テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)		

### 【地方分類】

北海道・東北地方	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
関東地方	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
中部地方	新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
近畿地方	三重、滋賀、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫
中国・四国地方	岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知
九州・沖縄地方	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

※2014年4月実績よりエリア区分を8地方区分による6地方に変更

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

オール日本スーパーマーケット協会

一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp

2017年5月23日

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会  
 オール日本スーパーマーケット協会  
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査  
 2017年4月実績 速報版 (パネル270)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	87,373,492	100.0%	102.4%	101.0%
食品合計	78,311,488	89.6%	102.8%	101.3%
生鮮3部門合計	29,703,123	34.0%	102.6%	100.9%
青果	12,165,023	13.9%	102.2%	100.7%
水産	7,699,727	8.8%	101.2%	99.5%
畜産	9,838,373	11.3%	104.3%	102.3%
惣菜	8,781,722	10.1%	103.9%	101.9%
日配	16,793,974	19.2%	102.4%	100.9%
一般食品	23,032,668	26.4%	103.0%	101.8%
非食品	6,543,522	7.5%	99.9%	99.8%
その他	2,518,529	2.9%	98.0%	98.3%

## 地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	12,117,278	43	102.5%	101.5%
関東地方	32,320,048	73	103.3%	102.6%
中部地方	10,819,581	53	102.5%	99.7%
近畿地方	18,867,400	44	101.3%	99.9%
中国・四国地方	8,683,721	34	102.1%	99.5%
九州・沖縄地方	4,565,463	23	100.6%	100.6%

## 保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	755,004	47	98.4%	98.4%
4~10店舗	3,682,383	68	101.1%	100.5%
11~25店舗	9,943,943	65	102.8%	100.6%
26~50店舗	16,645,680	47	102.1%	100.4%
51店舗以上	56,346,482	43	102.5%	101.3%

集計企業数 (社)	270	既存店総売上高 (万円)	85,094,407
総店舗数 (店舗)	7,774	店舗平均月商 (万円)	11,239
総売場面積 (㎡)	12,819,331	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.8

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2017年5月23日

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会  
 オール日本スーパーマーケット協会  
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査  
 2017年3月実績 確報版 (パネル270)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	86,890,747	100.0%	100.8%	99.2%
食品合計	77,968,965	89.7%	101.1%	99.2%
生鮮3部門合計	29,926,975	34.4%	100.7%	98.9%
青果	12,315,674	14.2%	101.8%	100.2%
水産	7,921,278	9.1%	97.9%	96.2%
畜産	9,690,022	11.2%	101.5%	99.6%
惣菜	8,778,133	10.1%	102.5%	100.5%
日配	16,519,730	19.0%	101.0%	99.3%
一般食品	22,744,127	26.2%	101.3%	99.0%
非食品	6,312,678	7.3%	98.0%	97.8%
その他	2,609,153	3.0%	97.7%	97.6%

## 地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	12,228,832	43	101.1%	100.3%
関東地方	32,369,200	73	101.8%	100.6%
中部地方	10,695,464	53	102.1%	98.3%
近畿地方	18,518,441	44	98.8%	97.6%
中国・四国地方	8,597,964	34	98.6%	97.9%
九州・沖縄地方	4,480,846	23	99.8%	98.7%

## 保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	748,684	47	96.6%	96.7%
4~10店舗	3,676,658	68	98.6%	98.1%
11~25店舗	10,052,924	66	99.5%	99.2%
26~50店舗	16,485,140	46	99.7%	98.4%
51店舗以上	55,927,341	43	101.5%	99.6%

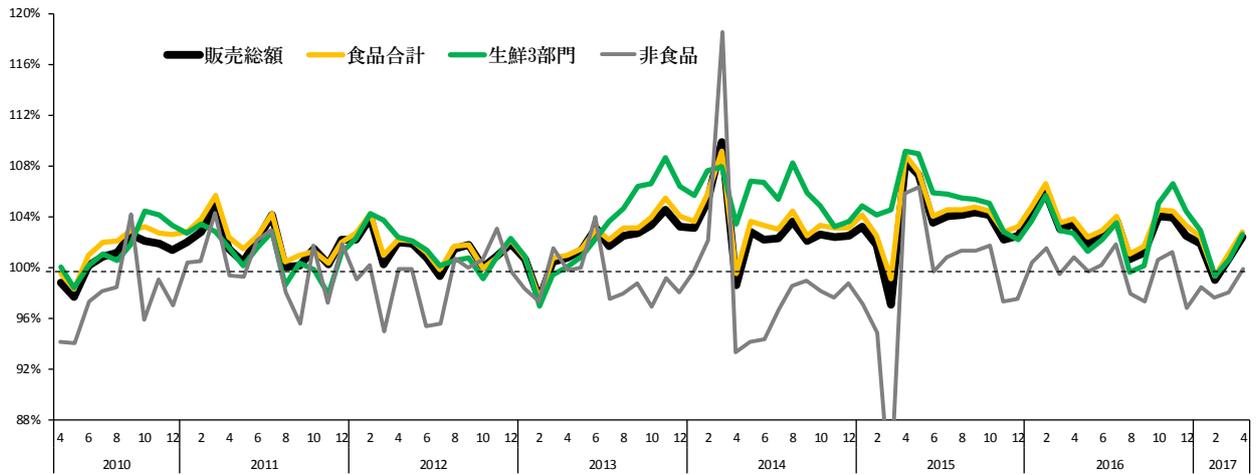
集計企業数 (社)	270	既存店総売上高 (万円)	84,581,015
総店舗数 (店舗)	7,755	店舗平均月商 (万円)	11,204
総売場面積 (㎡)	12,794,079	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.8

※売上高は税抜金額

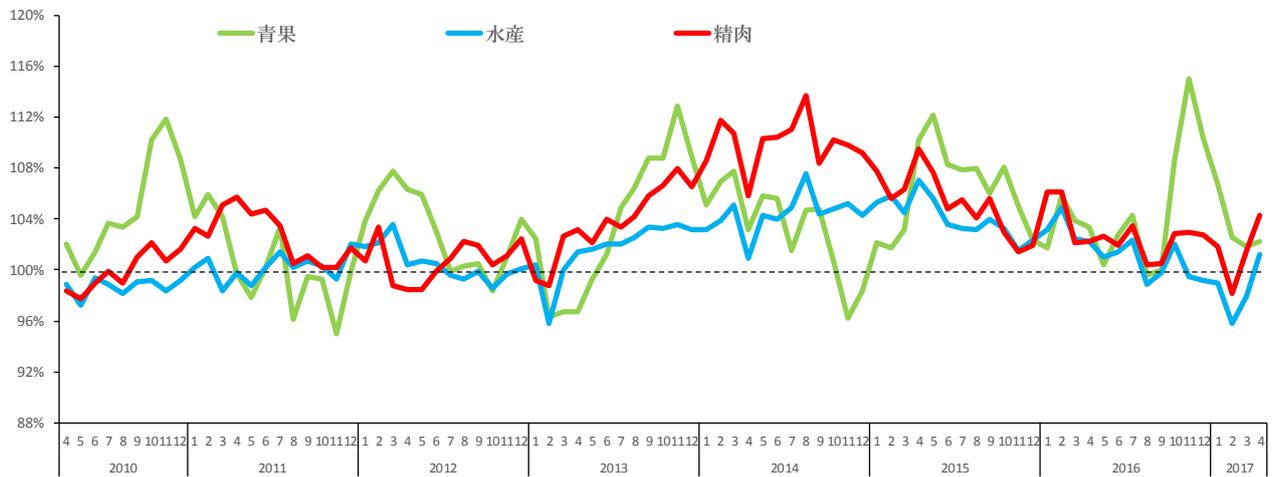
※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2017年4月(前年同月比/全店ベース)

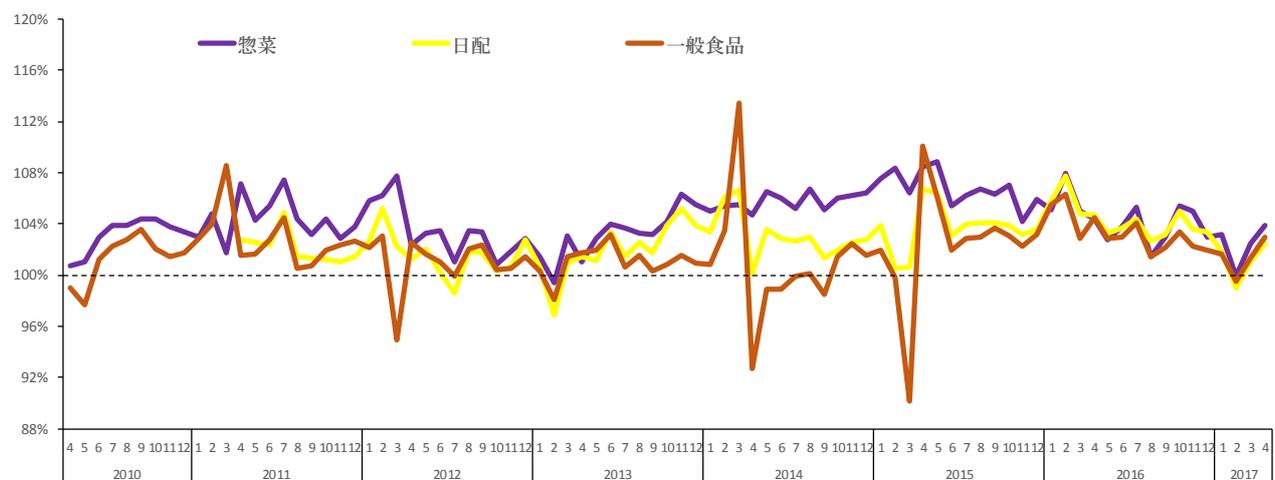
販売総額・食品合計・生鮮3部門・非食品



青果・水産・畜産



惣菜・日配・一般食品



※2010年4月～2017年3月までは確認版による前年同月比、2017年4月は速報版による前年同月比

※2011年3月までは、「一般食品」に「日配」、「非食品」に「その他」を含む

## 2017年4月エリア別気候状況

### 1. 月の気温：北・西日本で高温だが、全国的に気温の変動が大きかった

上旬：北・西日本で高く、東日本と沖縄・奄美で平年並だった。

中旬：東・西日本、沖縄・奄美で高く、北日本で平年並だった。

下旬：東日本、沖縄・奄美で低く、北・西日本で平年並だった。

2016年4月との比較：上旬関東以西で低く、下旬は全国的にやや低い気温

	平年との比較 (°C)						今年と前年との差 (°C)		
	2017年4月			2016年4月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	1.5	1.1	-0.4	1.9	0.1	-0.4	-0.4	1.0	0.0
東北地方	1.1	1.3	-0.1	1.8	1.1	0.6	-0.7	0.2	-0.7
関東甲信地方	0.5	1.3	-0.5	2.6	1.3	1.3	-2.1	0.0	-1.8
北陸地方	1.2	1.1	0.3	3.4	0.7	0.2	-2.2	0.4	0.1
東海地方	0.5	0.8	-0.5	2.6	1.1	1.1	-2.1	-0.3	-1.6
近畿地方	1.3	1.3	-0.2	3.2	0.9	0.7	-1.9	0.4	-0.9
中国地方	1.5	1.7	0.5	3.2	0.8	0.4	-1.7	0.9	0.1
四国地方	1.0	1.7	-0.1	2.9	1.1	0.9	-1.9	0.6	-1.0
九州北部	1.1	1.8	0.6	3.0	1.4	0.5	-1.9	0.4	0.1
九州南部・奄美地方	0.8	1.6	-0.3	2.4	1.1	0.6	-1.6	0.5	-0.9

平年差

+2°C以上

+1°C以上

-2°C以上

-1°C以上

前年差

+2°C以上

+1°C以上

-2°C以上

-1°C以上

### 2. 月の日照時間：北・東日本太平洋側、西日本、沖縄・奄美で日照時間が多かった

上旬：北日本、沖縄・奄美で多かった。一方、東日本太平洋側、西日本で少なく、東日本日本海側で平年並だった。

中旬：東日本太平洋側で多かった。一方、北日本日本海側、沖縄・奄美で少なく、北日本太平洋側、東日本日本海側、西日本で平年並だった。

下旬：東・西日本日本海側でかなり多く、北日本日本海側、西日本太平洋側、沖縄・奄美で多かった。北・東日本太平洋側で平年並だった。

2016年4月との比較：上旬から中旬にかけては前年並み、下旬はやや多い日照時間

	日照時間 平年比 (%)						今年と前年との差 (%)		
	2017年4月			2016年4月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	120	93	112	110	66	105	10	27	7
東北地方	103	93	113	96	100	99	7	-7	14
関東甲信地方	85	133	111	58	127	85	27	6	26
北陸地方	92	92	136	97	124	87	-5	-32	49
東海地方	72	118	111	50	121	85	22	-3	26
近畿地方	81	103	125	55	130	82	26	-27	43
中国地方	83	107	137	74	129	87	9	-22	50
四国地方	75	114	113	51	128	85	24	-14	28
九州北部	66	106	137	64	115	67	2	-9	70
九州南部・奄美地方	89	113	124	45	115	67	44	-2	57

平年差

平年比150%以上

平年比125%~149%

平年比50%以下

平年比51%~75%

前年差

+50%以上

+25~49%

-50%以下

-25~-49%

### 3. 月の降水量：西日本で降水量が多かった

上旬：北日本太平洋側、沖縄・奄美でかなり少なく、北日本日本海側で少なかった。一方、西日本で多く、東日本で平年並だった。

中旬：沖縄・奄美で少なかった。一方、東日本太平洋側、西日本日本海側でかなり多く、北日本、東日本日本海側、西日本太平洋側で多かった。

下旬：東日本太平洋側でかなり少なく、北日本太平洋側、西日本で少なかった。一方、沖縄・奄美でかなり多く、北・東日本日本海側で平年並だった。

2016年4月との比較：上旬はかなり少なく、中旬はかなり多く、下旬はかなり少ない降水量

	降水量 平年比 (%)						今年と前年との差 (%)		
	2017年4月			2016年4月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	38	181	68	93	167	80	-55	14	-12
東北地方	28	177	46	256	77	151	-228	100	-105
関東甲信地方	69	192	22	131	69	151	-62	123	-129
北陸地方	85	140	84	150	88	181	-65	52	-97
東海地方	98	199	22	184	91	181	-86	108	-159
近畿地方	73	150	55	181	93	157	-108	57	-102
中国地方	52	175	61	167	71	257	-115	104	-196
四国地方	140	134	97	206	68	173	-66	66	-76
九州北部	171	219	41	150	112	236	21	107	-195
九州南部・奄美地方	217	111	52	76	76	230	141	35	-178

平年差

平年比150%以上

平年比125%~149%

平年比50%以下

平年比51%~75%

前年差

+50%以上

+25~49%

-50%以下

-25~-49%

気象庁ホームページ・報道発表資料「4月の気候」参照

平年値は過去30年(1981年~2010年)の平均

スーパーマーケット統計事務局作成

# スーパーマーケット景気動向調査

2017年5月調査結果（4月実績）  
（2017年5月23日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

## 【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」  
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」  
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

---

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

## 【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

---

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会  
オール日本スーパーマーケット協会  
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

## 5月調査（4月実績）結果概況

### 景気判断DI 現状判断、見通し判断共に小幅に改善も

4月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は前月から+1.0の45.7、見通し判断は前月から-0.3の42.9となり、どちらも前月の水準から大きな変化はなかった。

経営動向調査では、売上高DIが-5.1、収益DIは-6.7と共にマイナスながら前月に比べ上昇をみせた。日曜日が一日多い曜日まわりの影響で、来客数DIが-9.9（前月比+3.9）、客単価DIが1.9（前月比+1.2）と前月に比べ小幅に上昇したことがその要因としてあげられる。

カテゴリー動向調査は、前月と同様の傾向が続いており、青果相場の落ち着きがみられはじめるなど、一般的に単価が下落傾向にあるなか、数量増が好不調の鍵を握っている。一方で、日曜日が一日多い恩恵があり、前月に比べてDIはやや上昇しているものの、前年より低い気温の影響も受け、惣菜DI以外はすべてマイナスとなった。（カテゴリー動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査は、現状判断、見通し判断共に大きな動きは見られず、前月の水準でほぼ横ばいとなった。短期移動平均線は上向きを示しているが、長期傾向では下降トレンドが継続しており、トレンド転換の兆しは確認できない。（周辺地域景気動向DI 長期傾向参照）

景況感は、前月同様、方向感がない動きとなっているなか。販売価格、客単価のプラス幅はわずかであり、来客数減をカバーすることが厳しい状況が継続している。気温をはじめとする気象条件が不安定な環境が続くなか、消費者ニーズへの対応力が問われる環境となっている。

#### 景況感調査

##### 現状判断

**景気判断DI**  
当月：45.7 (+1.0)  
前月：44.7

**消費者購買意欲DI**  
当月：45.4 (+0.4)  
前月：45.0

**周辺地域 競合状況DI**  
当月：42.2 (-0.9)  
前月：43.1

**店舗周辺地域 景気判断DI**  
当月：46.6 (+0.2)  
前月：46.4

##### 見通し判断

**景気判断DI**  
当月：42.9 (-0.3)  
前月：43.2

**消費者購買意欲DI**  
当月：44.1 (-0.1)  
前月：44.2

**周辺地域 競合状況DI**  
当月：40.2 (-1.2)  
前月：41.4

**店舗周辺地域 景気判断DI**  
当月：46.0 (+0.5)  
前月：45.5

#### 経営動向調査 経営状況

**売上高DI**  
当月：-5.1 (+6.3)  
前月：-11.4

**客単価DI**  
当月：1.9 (+1.2)  
前月：0.7

**来客数DI**  
当月：-9.9 (+3.9)  
前月：-13.8

**収益DI**  
当月：-6.7 (+4.4)  
前月：-11.1

**販売価格DI**  
当月：0.9 (+1.4)  
前月：-0.5

**生鮮品仕入原価DI**  
当月：3.9 (-0.9)  
前月：4.8

**食品仕入原価DI**  
当月：3.4 (+1.4)  
前月：2.0

#### カテゴリー動向

**青果DI**  
当月：-1.2 (-0.4)  
前月：0.8

**水産DI**  
当月：-7.1 (+10.8)  
前月：-17.9

**畜産DI**  
当月：-1.2 (+7.6)  
前月：-8.8

**惣菜DI**  
当月：3.7 (+2.3)  
前月：1.4

**日配DI**  
当月：-2.3 (+6.5)  
前月：-8.8

**一般食品DI**  
当月：-4.0 (+4.0)  
前月：-8.0

**非食品DI**  
当月：-7.9 (+6.3)  
前月：-14.2

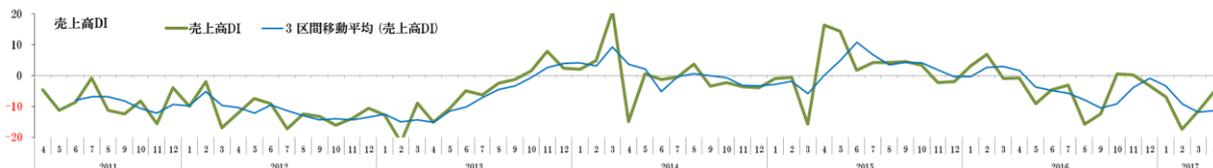
○ 内は前月DIとの増減、赤字はマイナス

## 5月調査（4月実績）結果詳細 I. 経営動向調査（2011年4月～）

### 1. 売上高DI

うるう年の影響から反発し、2ヵ月連続でマイナス幅を縮小

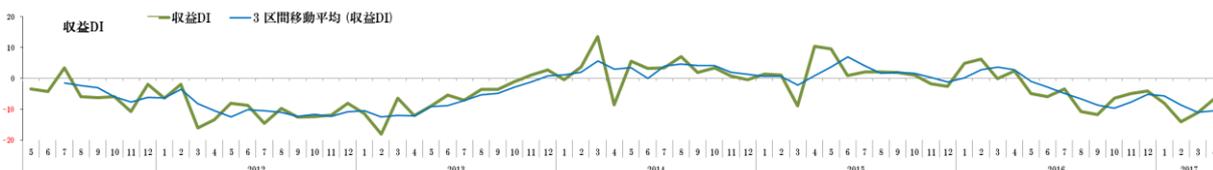
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	8.9	44.6	29.7	16.8	0.0	-11.4
売上高 (当月)	4.7	36.8	34.5	22.2	1.8	-5.1



### 2. 収益DI

うるう年の影響から反発し、2ヵ月連続でマイナス幅を縮小

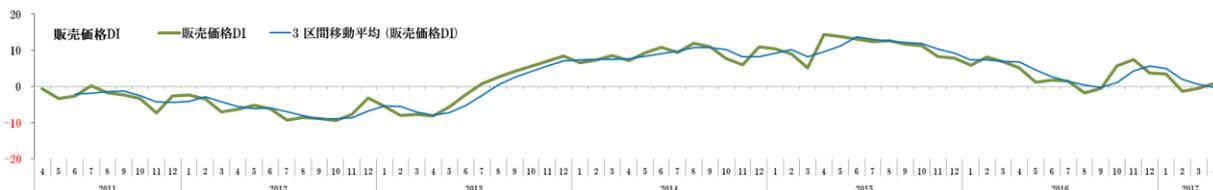
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	10.1	39.7	35.2	14.6	0.5	-11.1
収益 (当月)	7.3	35.8	35.8	18.8	2.4	-6.7



### 3. 販売価格DI

2ヵ月連続のマイナスを記録後、やや持ち直し

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.5	20.4	59.7	19.4	0.0	-0.5
販売価格 (当月)	1.2	12.4	68.2	18.2	0.0	0.9



### 4. 客単価DI

わずかにプラス圏を維持するも、頭の重い状況が続く

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	0.0	24.6	47.8	27.6	0.0	0.7
客単価 (当月)	0.6	20.1	50.3	29.0	0.0	1.9



## 5. 来客数 DI

やや上昇をみせるマイナス圏での推移が続く

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	10.0	46.8	31.8	11.4	0.0	-13.8
<b>来客数 (当月)</b>	<b>7.1</b>	<b>39.1</b>	<b>41.4</b>	<b>11.2</b>	<b>1.2</b>	<b>-9.9</b>



## 6. 生鮮仕入原価 DI

横ばい推移が続き、プラス幅は縮小

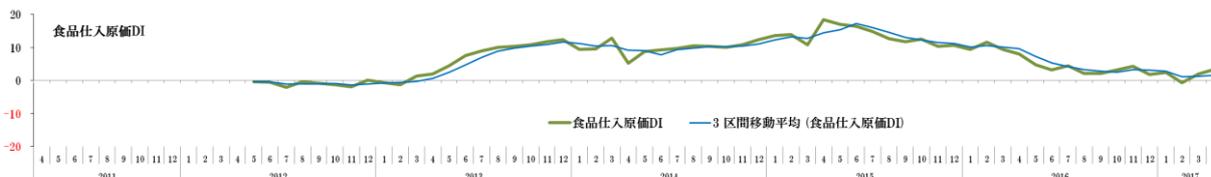
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	2.5	10.1	54.0	32.3	1.0	4.8
<b>生鮮仕入原価 (当月)</b>	<b>1.8</b>	<b>8.4</b>	<b>63.3</b>	<b>25.3</b>	<b>1.2</b>	<b>3.9</b>



## 7. 食品仕入原価 DI

2013年2月以来のマイナスを記録後、やや上昇

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	2.0	8.5	69.3	19.6	0.5	2.0
<b>食品仕入原価 (当月)</b>	<b>1.2</b>	<b>7.1</b>	<b>69.2</b>	<b>21.9</b>	<b>0.6</b>	<b>3.4</b>

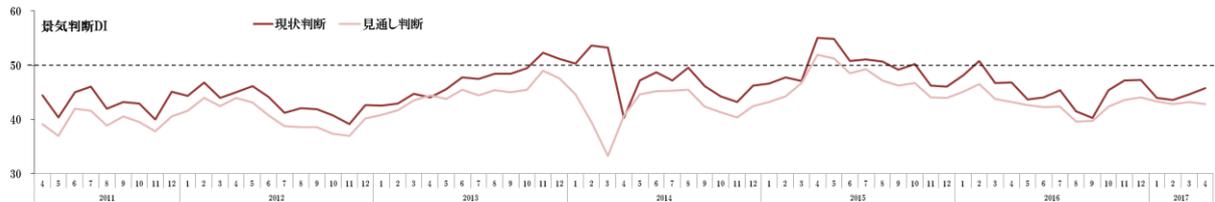


## II. 景況感調査 (2011年4月～/周辺地域景気判断のみ 2010年4月～)

### 1. 中核店舗景気判断 DI

現状判断は小幅に改善、見通し判断はほぼ横ばいで、方向感のない推移

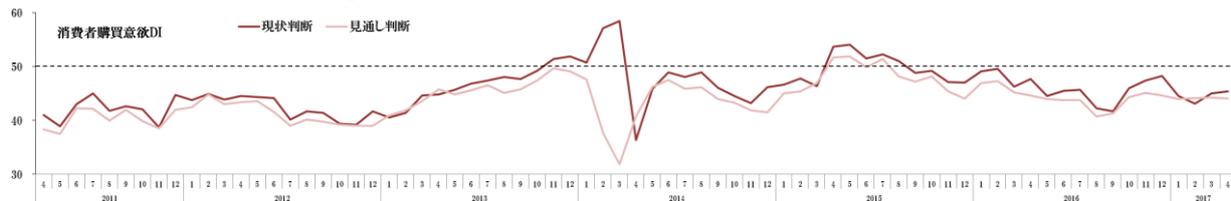
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断 (前月)	0.5	27.2	65.8	5.9	0.5	44.7
【現状】景気判断 (当月)	<b>0.6</b>	<b>22.9</b>	<b>69.4</b>	<b>7.1</b>	<b>0.0</b>	<b>45.7</b>
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断 (前月)	2.5	28.1	63.5	5.9	0.0	43.2
【見通し】景気判断 (当月)	<b>1.8</b>	<b>28.6</b>	<b>66.1</b>	<b>3.6</b>	<b>0.0</b>	<b>42.9</b>



### 2. 消費者購買意欲 DI

現状判断、見通し判断共に前月と変わらず

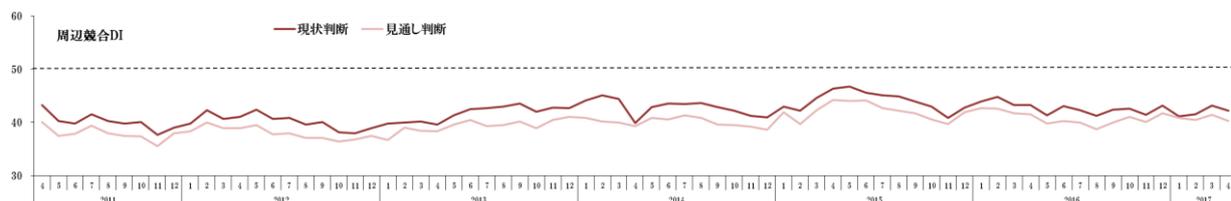
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	0.5	23.5	71.6	4.4	0.0	45.0
【現状】購買意欲 (当月)	<b>0.6</b>	<b>22.9</b>	<b>70.6</b>	<b>5.9</b>	<b>0.0</b>	<b>45.4</b>
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	1.0	24.6	70.9	3.4	0.0	44.2
【見通し】購買意欲 (当月)	<b>1.2</b>	<b>24.3</b>	<b>71.6</b>	<b>3.0</b>	<b>0.0</b>	<b>44.1</b>



### 3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状、見通し判断共に弱含みで変化の基調ない

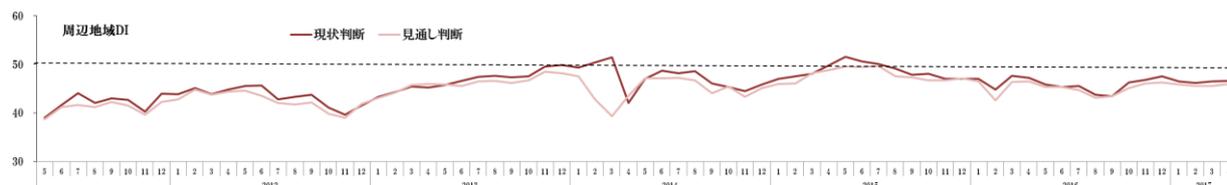
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	2.0	27.5	66.7	3.9	0.0	43.1
【現状】競合状況 (当月)	<b>3.5</b>	<b>28.2</b>	<b>64.7</b>	<b>2.9</b>	<b>0.6</b>	<b>42.2</b>
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	4.4	29.1	63.1	3.4	0.0	41.4
【見通し】競合状況 (当月)	<b>5.3</b>	<b>30.2</b>	<b>62.7</b>	<b>1.8</b>	<b>0.0</b>	<b>40.2</b>



#### 4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

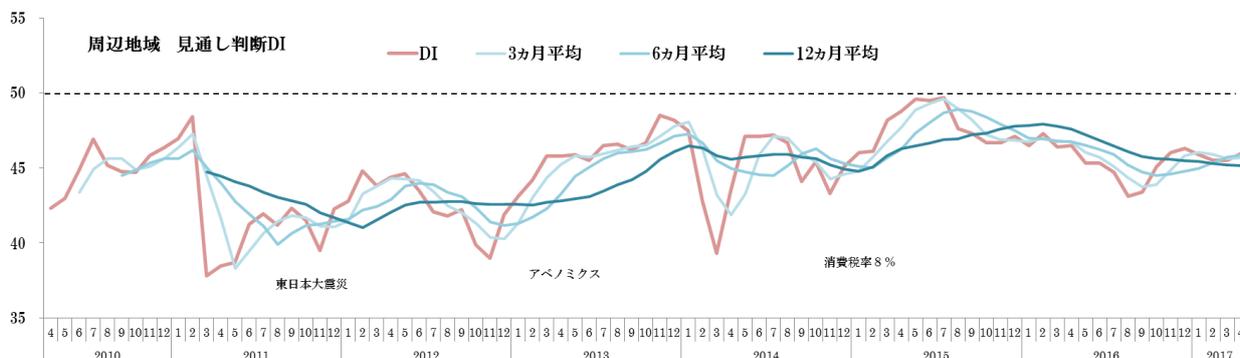
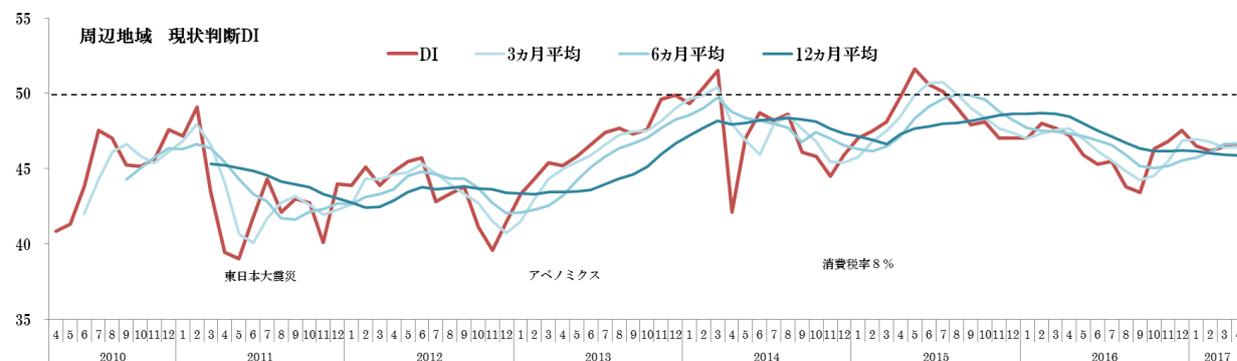
現状判断、見通し判断共に小幅な改善

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気 (前月)	0.5	16.7	79.9	2.5	0.5	46.4
【現状】地域景気 (当月)	0.0	15.4	82.8	1.8	0.0	46.6
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気 (前月)	1.0	17.9	79.6	1.0	0.5	45.5
【見通し】地域景気 (当月)	0.6	16.1	82.1	1.2	0.0	46.0



#### 長期傾向 (2010年4月～)

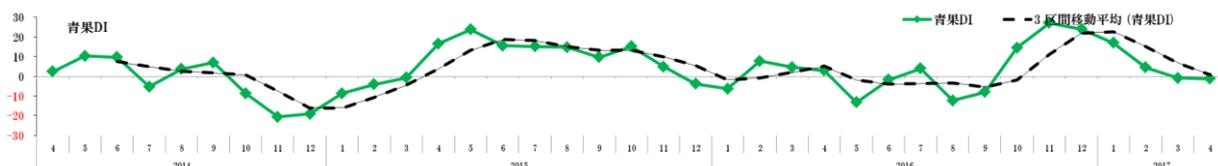
2012年11月以降改善傾向を続けていた「中核店舗周辺地域景気判断DI」は、2014年4月の消費税率引き上げの影響を受け大きく下落した。5月に一旦持ち直したものの、6月～8月まで横ばい推移、9月に再び悪化した。その後、年末から6ヵ月連続で改善し、2015年5月には調査開始以来の最高水準まで改善をみせた。これをピークに6月以降悪化傾向が続き11月は下落の速度が早まった。12月～2月は横ばいで推移したものの、2016年3月以降悪化をみせ、8月には大きく下落した。直近9月に下げ止まりをみせ、10月は一転して大きく改善し、12月まで小幅な改善が続いた。2017年に入り、方向感なく横ばい推移が続いている。



### Ⅲ. カテゴリー別動向

#### 1. 青果DI：-1.2（やや不調）

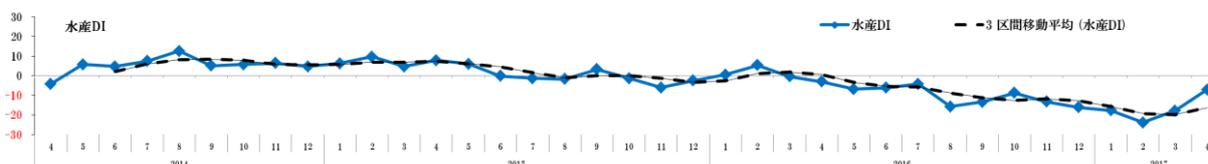
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果 (前月)	4.7	31.8	29.7	29.7	4.2	-0.8
青果 (当月)	3.7	32.9	30.4	30.4	2.5	-1.2



全般的に野菜類は、出荷量が増加し相場が低下傾向にあり、販売数量が増加したものの、一品単価が下落したため、売上は前年並みとなった店舗が多かった。気温の変化により、サラダ関連のレタス・トマト・キュウリ、ピーマンの動きが数量的にはよいが、単価下落の影響で振るわなかった。土物、豆類は好調となっているが、タケノコは、不作で相場が高く不振であった。果物も野菜類と同様の傾向で、リンゴやいちごは相場が安く、数量的には好調だが、売上は前年に届かない店舗が多くみられた。輸入果実は不調とするコメントが多くみられた。

#### 2. 水産DI：-7.1（やや不調）

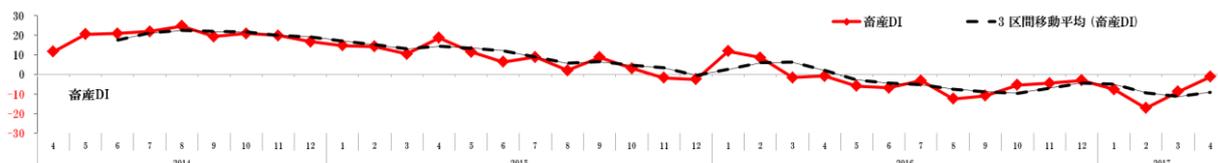
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産 (前月)	16.3	49.5	23.5	10.7	0.0	-17.9
水産 (当月)	4.9	42.6	31.5	17.9	3.1	-7.1



引き続き生魚の入荷が少なく相場も高値で推移しており、厳しい状況に変化はないが、日曜日の多い曜日めぐりで、まぐろやかつおなどの刺身類が好調となった。春魚であるサワラは、入荷が不安定で高く不調、カツオのたたき、魚惣菜など即食性の高い商品は比較的好調とするコメントがみられた。

#### 3. 畜産DI：-1.2（やや不調）

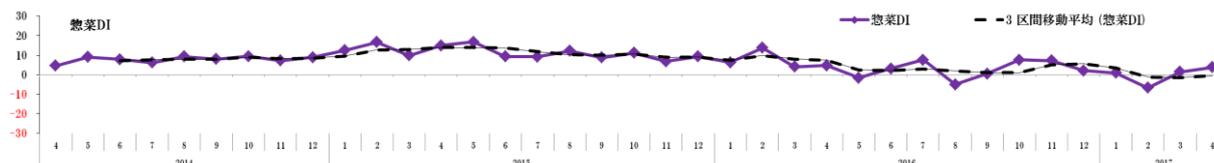
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産 (前月)	9.7	39.3	29.1	20.4	1.5	-8.8
畜産 (当月)	3.1	32.3	33.5	28.6	2.5	-1.2



和牛は相場高が続いているなか、切り落としを中心とした輸入牛の売り込みを強化する動きが強まっている。牛肉は焼肉商材などが比較的好調、豚肉は気温上昇により豚しゃぶなどが好調で数量が増加傾向にある。一方で単価は下落傾向にあり、販売数量増加の有無により好不調が分かれている。ブラジル産の報道により、鶏肉は不振となった店舗が多い。加工肉については価格競争の厳しさを指摘するコメントも散見された。

#### 4. 惣菜DI：3.7（やや好調）

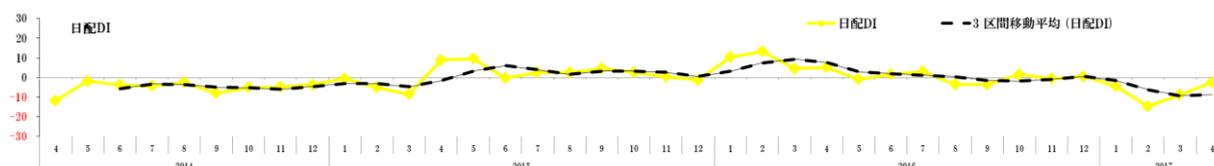
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	5.7	21.2	39.9	28.0	5.2	1.4
<b>惣菜（当月）</b>	<b>4.3</b>	<b>16.8</b>	<b>42.2</b>	<b>32.9</b>	<b>3.7</b>	<b>3.7</b>



桜の開花が遅れ、お花見需要が4月にずれ込んだため、好天だった地域では行楽用商材が好調となったが、反対に低温や悪天候により伸び悩んだ店舗もみられた。日曜日が一日多いことを追い風にオードブルを中心とした週末商材が好調となった。出来立てや揚げたての提供など取組みを強化しており、成果をあげている店舗がある一方で、人手不足で十分に対応できない店舗もみられた。

#### 5. 日配DI：-2.3（やや不調）

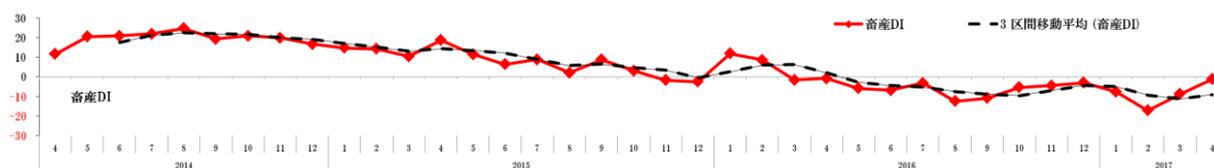
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	7.7	38.8	35.7	16.8	1.0	-8.8
<b>日配（当月）</b>	<b>3.8</b>	<b>28.1</b>	<b>43.8</b>	<b>22.5</b>	<b>1.9</b>	<b>-2.3</b>



前年との比較では気温が低く、飲料や涼味系の麺類を中心に伸び悩んだ一方で、日曜日が一日多いことの恩恵があった。前年特需のあった機能性ヨーグルトなどが落ち込みをみせた。メディアで取り上げられた甘酒や豆乳などが引き続き好調となっている。他業態との価格競争の厳しさへの指摘が散見された。

#### 6. 一般食品：-4.0（やや不調）

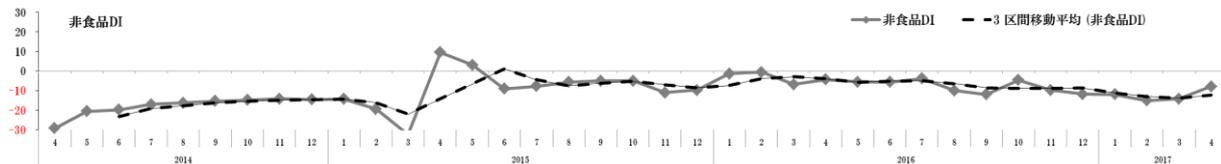
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	5.7	39.2	37.6	16.5	1.0	-8.0
<b>一般食品（当月）</b>	<b>5.0</b>	<b>32.9</b>	<b>39.8</b>	<b>18.0</b>	<b>4.3</b>	<b>-4.0</b>



前年との比較では気温が低い影響で、つゆなど涼味関連商材が伸び悩んだが、単価の上昇している米は引き続き好調となっている。じゃがいも不足の報道によりポテトチップスに特需が発生した店舗もみられ、菓子は好調となった。日曜日の一日多い恩恵があったほか、食酢が好調とのコメントが多くみられた。

## 7. 非食品DI：-7.9（やや不調）

回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	12.3	43.9	33.7	8.6	1.6	-14.2
非食品（当月）	10.1	32.1	40.9	13.2	3.8	-7.9



気温の上昇で殺虫剤などが比較的好調なほか、紙類に値上げ前の駆け込み需要が発生した。タバコの売上が落ち込んでいるほか、ホームセンター、ドラッグストアなどとの価格競争が激しく低迷が続いている。前年より低い気温により春物衣料も不振となった。

### カテゴリー別DIによる好不調判断

かなり好調：～20      好調：20～10      やや好調：10～0  
 やや不調：0～-10      不調：-10～-20      かなり不調：-20～

### 2017年5月調査（4月実績）キーワードTOP3

1. 日曜日が一日多い
2. 気温上昇も前年より低下 花見時期の天候
3. 単価下落傾向

### スーパーマーケット景気動向調査 集計数

4月実績速報版 171社  
 3月実績確報版 204社

### スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 [tokei@super.or.jp](mailto:tokei@super.or.jp)